

## 親子で話す！働くこととお金のガイド

### 1. なぜ「働くこと」を早いうちから考えるのか

現代社会では、子どもたちが経済的な自立や仕事への理解を深めることがますます重要になっています。アルバイトを経験することで、時間管理、責任感、対人スキルなど、学校では学びきれない力が育ちます。このガイドでは、家庭で働くことやお金について、子どもと一緒に話し合うためのヒントを紹介します。

### 2. 親子で話したい「お金と働き方」6つの質問

- Q1: なぜ人は働くのだろうか？
- Q2: お金はどうやって手に入るの？
- Q3: 「時給」って何？どんな意味がある？
- Q4: お金は全部使っていい？貯めるってどういうこと？
- Q5: 楽な仕事と大変な仕事、どちらが多い？
- Q6: 将来どんな仕事をしてみたい？そのために今できることは？

### 3. 親が伝えたい「働くこと」のリアル

子どもが実際に社会に出たときに驚かないよう、親として「仕事の楽しさ」と「苦勞の両面」を正直に伝えることが大切です。成功体験だけでなく、失敗やプレッシャー、チームでの協力、理不尽さへの対応なども、子どもの価値観を広げるヒントになります。

### 4. 実践アイデア：家庭でできる「働くとお金の体験」

- ◎ 家の中で“おしごと”を作る：料理手伝い、掃除、洗濯などに報酬をつける。
- ◎ “家庭内バイト表”を作成：仕事の内容・所要時間・報酬額を書き出して選ばせる。
- ◎ 一緒に買い物体験：決められた予算内で買い物を任せてみる。
- ◎ 使い道シート作り：おこづかいやバイト代の使い方を記録するワーク。
- ◎ 社会見学に行く：実際の職場（親の勤務先や知人の仕事場）を訪ねてみる。

### 5. お金の会話を“日常化”しよう

「お金の話は大人がするもの」という風潮はもう古いかもしれません。日常の中で、「今日はいくら使った？」「これって何のために払ってる？」という会話をすることで、自然と“経済感覚”が育っていきます。親子で一緒に学ぶ姿勢が、何よりも大切です。